

石破農林水産大臣のスイス出張の結果概要

平成20年11月
農林水産省

1. 日時・場所:11月23日(日)～25日(火) 於:ジュネーブ(スイス)
2. 同席者:村上農林水産審議官、吉村総括審議官、北島寿府代大使 ほか

3. 各種会合等概要:

(1) ワセシャ NAMA 交渉議長との会談(11月23日)

- ・ NAMA 交渉の現状、閣僚会合の開催を含めた今後の交渉の進め方及び両国の農業事情についての意見交換を行った上で、NAMAの品目カバレッジ、分野別関税撤廃についての考えを聴取した。

(2) ファルコナー農業交渉議長との会談(11月24日)

- ・ 農業交渉の現状、改訂テキストに向けた議論、閣僚会合の開催についての考え方及び見通しについて聴取し、ドーハ・ラウンドの交渉の結果が我が国農業に重大な影響を及ぼし得ることを伝えた上で、特に①重要品目の数についての不公平の是正、十分な数の確保及び支払いを極力小さくすること②関税割当新設のルール作りについての我が国の強い立場を説明し、かつ、その重要性に鑑み、これらの問題は、政治レベルで解決すべき問題であると主張した。

(3) ラミーWTO 事務局長との会談(11月24日)

- ・ 交渉全体の現状、閣僚会合における議論についての考えを聴取するとともに、我が国の置かれている政治情勢及びドーハ・ラウンドの結果が我が国農業に重大な影響を及ぼし得ることを伝えた。
- ・ 閣僚会合の二度の失敗は許されないこと、閣僚会合の結果としてのモダリティ合意は「部分」ではなくて「全体」であるべきとの考えを伝え、個別論点として①重要品目の数についての不公平の是正、十分な数の確保及び支払いを極力小さくすること②関税割当新設のルール作りについての我が国の強い立場を説明した。

(以上)